



学校評価アンケート結果から

「よりよい学校づくりのための学校評価アンケート」では、保護者の皆様にご協力をいただき、本当にありがとうございました。本校では、学校教育目標「自ら考え、判断し、行動できる生徒」の育成を目指し、主体性をもとした意欲や挑戦心を大切にする指導に重点をおいて参りました。

本年度の学校経営を振り返り、次年度の教育計画を立案し始めています。結果や内容を真摯に受け止め、今後の教育活動をさらに充実させるための大切な資料として活用して参ります。



【グラフの補足説明】 数字は割合（％）となります

R 6 生：令和6年度の生徒 R 7 生：令和7年度の生徒

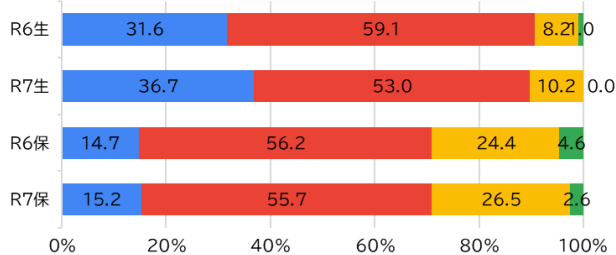
R 6 保：令和6年度の保護者 R 7 保：令和7年度の保護者

【凡例】 ■ 当てはまる ■ 大体当てはまる ■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない

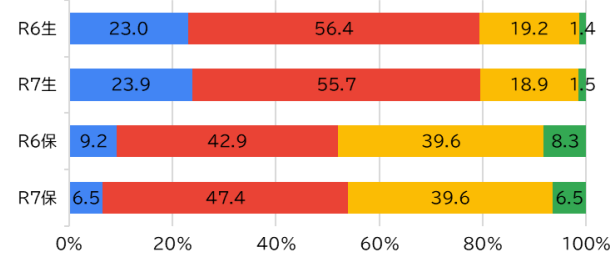
1 学校教育目標にかかわって

アンケート回収率：生徒 75.2% 保護者 65.5%

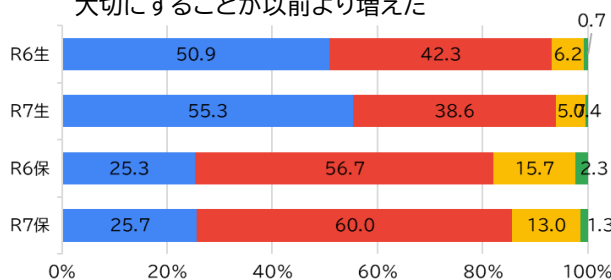
(1) 学習に向かおうとする力や仲間と共に磨き合おうとする気持ちが以前より高まった



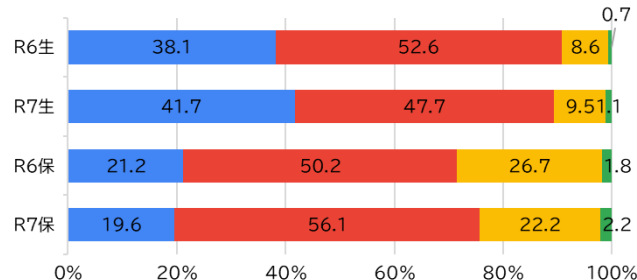
(2) 「なぜ、どうして」を大切に追究したり、根拠をもって考えたりしながら学ぶことが以前より多くなった



(3) 自分との違いを受け入れ、共に学ぼうとする気持ちや、友だちや先生、学校以外の人等とのつながりを大切にすることが以前より増えた



(4) さまざまな事について、「自ら考え、判断し、行動する」ことが以前より多くなった



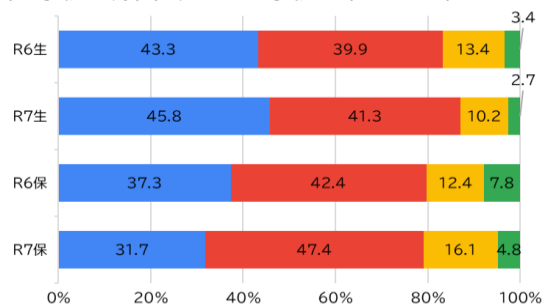
○1 学校教育目標にかかわっての4項目については、生徒の自己評価は高い水準で推移しています。

生徒が学校教育目標を意識して生活している様子が伺えます。一方で、保護者の肯定的評価は一貫して生徒よりも低い傾向が見られます。例えば、1(4)に対する保護者の肯定的評価は75.7%（昨年度71.4%）で生徒の評価と開きが見られました。学校ホームページや学校だより、学年・学級通信等で、学校教育目標にかかわって頑張っている姿などをさらに積極的に伝えていく必要性を感じています。

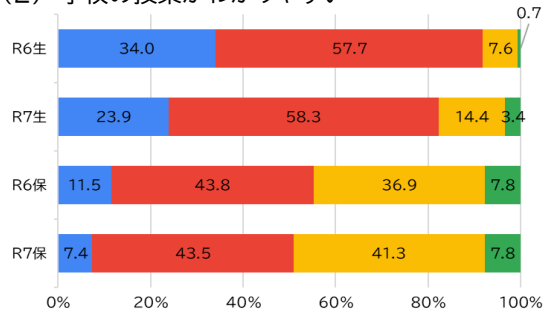
○予測困難な未来を担う子どもたちにとって、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動する力は大変重要ととらえています。今後も学校教育目標の具現に向けて、生徒の主体性の発揮を大切に、仲間との協働、地域や様々な人等とのつながりを意識し、学びを深めていきたいと考えています。

2 学校生活にかかわって

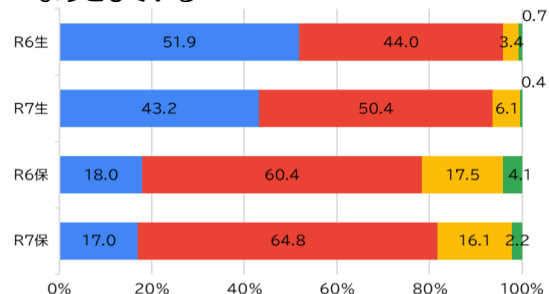
(1) 学校の雰囲気がよく、学校へ来るのが楽しい



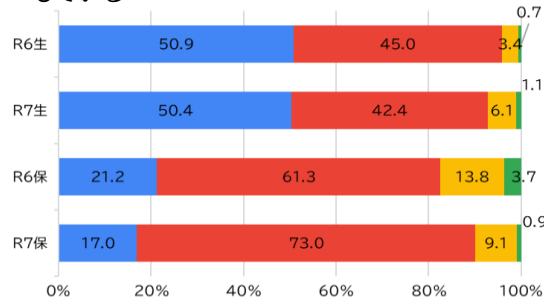
(2) 学校の授業がわかりやすい



(3) 先生たちは熱意をもって授業を行い、学力を高めようとしている



(4) 先生たちは自分の能力や努力を適切・公平に評価している



○本校で特に重点とする指標として、「2(1)学校の雰囲気がよく、学校へ来るのが楽しい」の肯定的評価90%以上を目標としています。今回の調査では、学校に来るのが楽しいと感じている生徒は87.1%(昨年度83.2%)、保護者については79.1%(昨年度79.7%)となり概ね肯定的ととらえられ、特に、生徒の肯定的評価の割合が昨年度から高まりました。しかし、目標には到達しておらず、また、「当てはまらない」と回答いただいた保護者の割合が高まっています。このような状況を受け止め、職員それぞれが生徒の声に耳を傾け、生徒にとって学校が魅力のある場所となり、中学校生活が楽しく、雰囲気のよい学校となるようさらに努力を重ねて参ります。

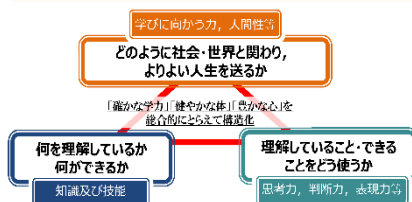
○「2(2)学校の授業がわかりやすい」では、わかりやすいと回答した生徒は82.2%(昨年度91.7%)です。昨年度よりも割合が低くなっており、「あまり当てはまらない」の割合が高くなっていること、保護者の方の肯定的評価が50.9%と生徒に比べて低くなっています。今後求められるわかりやすい授業とはどのような授業なのかそれぞれの立場で考えられるとよいと思います。そこで、昨年度も記載させていただいた内容を今年度も掲載させていただきます。

<覚える授業から考え挑戦する授業へ>

従来の学校では、「何を教えるか」という教科固有の知識や技能を身につけることに重きを置いた授業(コンテンツベース)が行われてきました。しかし、将来の予測が困難な複雑で変化の激しい社会においては、覚えたことを自然に使えるということはありません。そのため、社会が求める力は変化し、現在の授業では、「知っていること・できることをどう使うか」という知識・技能を活用するための思考力・判断力・表現力や、生涯を通して変化に対応するべく学び続けるための主体的に学習に取り組む態度などの「資質・能力」を身につけることを重視した授業(コンピテンシーベース)へと転換がなされています。このことにより職員は、指示したことを指示通りやらせたり、大事なワードをただ覚えられるようにしたりするのではなく、「何を、どのように学ぶか、何ができるようになるか」という視点での授業改善に取り組んでいるところです。これからの時代は今まで以上に、自らやるべきことを考え、判断し、行動していく力が必要とされてきています。そうしたなかで、わかりやすい授業とはどのような授業なのか、共に考えていきたいと思います。

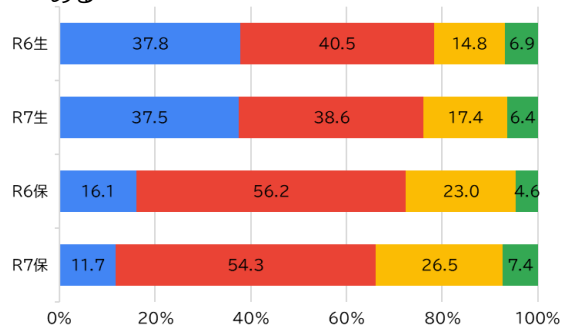
育成すべき資質・能力の三つの柱

学習する子供の視点に立ち、育成を目指す資質・能力の要素を三つの柱で整理。

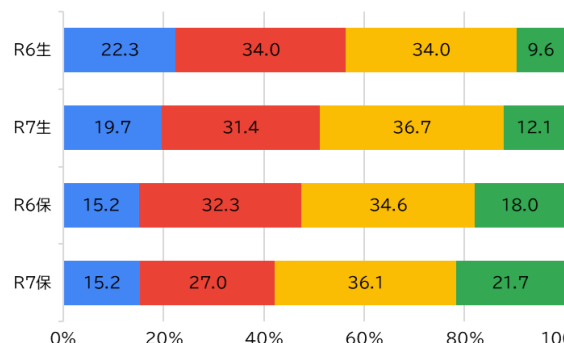


国が示す育成すべき資質・能力の三つの柱

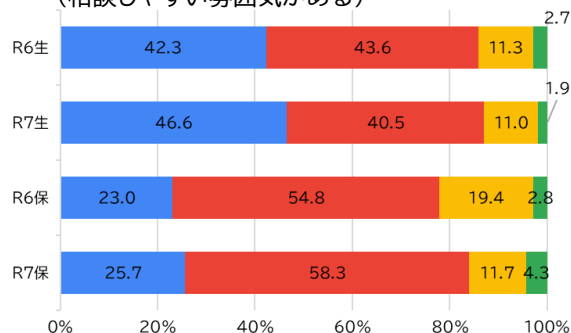
(5) 学校から出される家庭学習は、量や内容が適当である



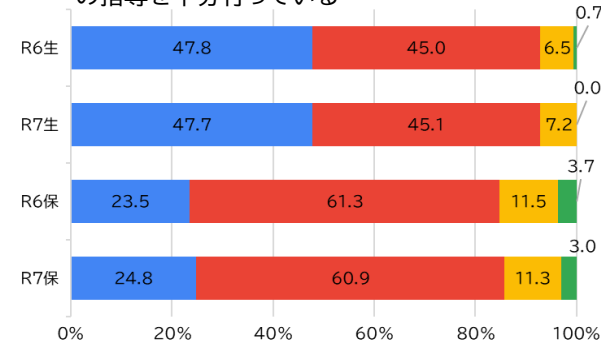
(6) 家で自分で計画を立てて勉強している



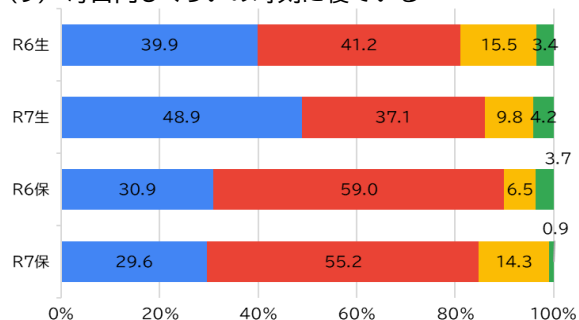
(7) 先生たちは親身に自分の相談にのってくれている(相談しやすい雰囲気がある)



(8) 学校はあいさつ指導や清掃指導等、生活態度面での指導を十分行っている



(9) 毎日同じくらいの時刻に寝ている



○「2(5)学校から出される家庭学習の量や内容が適当」という生徒は、76.1%(昨年度78.3%)、また、「2(6)家で自分で計画を立てて勉強している」という生徒は51.1%(昨年度56.3%)でした。2ページに示した「国が示す育成すべき資質・能力の三つの柱」にある資質・能力を伸ばしていくためには、家庭学習も含めて自らやるべきことを考え、判断し、学習していくことが必要となるため、本校では、スケジュール手帳を導入しています。「学びに向かう力、人間性など」の育成については、①粘り強い取組を行おうとする側面と、②自らの学習を調整しようとする側面、という2つの側面が相互に関わり合っており、スケジュール手帳では、自ら計画を立て(Plan)、実行し(Do)、その結果をふり振り返り(Check)、次に向けて改善していく(Action)というPDCAサイクルによってそれらの側面の育成を目指しています。また、1週間の時間の使い方を振り返ることで、自ら生活習慣を整えたり自己理解を深めたりして、起床時間、家庭学習開始時間、就寝時間の3点固定ができるようになり、自己管理能力・自己調整力が高まることを期待しています。スケジュール手帳の効果的な活用については、まだ不十分な点があると思いますので、今後さらに力を入れて取り組み、自主学習についても推進していきます。

○「2(7)先生たちは親身に自分の相談にのってくれている(相談しやすい雰囲気がある)」という生徒は87.1%(昨年度85.9%)、保護者については84.0%(昨年度77.8%)です。本校の職員は、生徒のことを第一に考え、生徒たちの健全な成長を何よりも願っています。学級担任はもちろん、学年職員や教科担任など学校全体がチームとなって、生徒一人ひとりの理解や指導に努めて参ります。困ったこと等がありましたら、相談しやすい先生にいつでも声をかけていただきたいと思います。

3 全体にかかわって

○どの項目についても、生徒の皆さん、保護者の皆様から「当てはまらない」という評価を一定数いただきました。そうしたご意見にもしっかりと目を向け、学校としての取組やそれぞれの教職員の対応にご理解いただけるように、日々努力を重ねて参ります。

○いじめ、教職員の指導に関するアンケートもあわせて実施いたしました。情報をお寄せいただいた皆様ありがとうございました。いただいた情報等については、早速、さらなる情報収集や指導等、対応に当たっているところです。何かご心配なことがありましたら直接学校までご連絡ください。

4 自由記述について

頂戴いたしました下記のご意見を真摯に受けとめさせていただき、学校教育目標「自ら考え、判断し、行動できる生徒」の育成を目指した学校運営、教師の資質向上に努めさせていただきます。

○学校生活全般については、富士見中学校で大切にしている3本柱についてのご意見をいただきました。挨拶については、校内では積極的に挨拶や会釈をする環境となっていること、校外では横断歩道で止まった車に会釈する姿があるなど、嬉しい内容をお寄せいただきました。清掃については、校舎を一生懸命掃除している姿が素晴らしいという内容をお寄せいただきました。一方で、自主性を重視するのであれば、挨拶や清掃の大切さについての指導を充実してほしいというご意見をいただきました。合唱については、合唱祭に向けて一生懸命頑張っている姿や、頑張れる子どもたちが素晴らしいという内容をお寄せいただきました。挨拶、清掃、合唱の3本柱について、生徒たちが誇りをもてるよう今後とも大切に指導していきたいと思いをします。



○白鈴祭について、「『すごく楽しかった！上級生が色々楽しませようと頑張って企画してくれたのがわかって、生徒会長の最後の感想は感動した。自分達の時もそんな上級生になりたい』と興奮気味に感想を言っていた。そんな背中を見せられる先輩達、それを理解して尊敬する後輩達。素敵な学校だと感じた。」という素敵な内容をお寄せいただきました。一方で、「白鈴祭が平日開催のみになり、ステージ発表が短くなった。」「文化祭を2日間にしてほしい」といったご意見をお寄せいただきました。今年度は総合的な学習の時間の発表を、探究学習の進捗状況によって設けているため白鈴祭では展示発表のみとなりました。また、ステージ発表の希望が多くなかったこともあり、実質1日半開催となっています。生徒それぞれの立場で活躍でき、その成果を保護者や地域の方にご覧いただけるような白鈴祭となるように計画していきたいと思いをします。

○学習にかかわって、2学期の中間テストの実施、探究ウィーク（探究学習）の推進、宿題の量の増加、タブレットの積極活用、手帳の活用など、貴重なご意見をいただいています。

○部活動にかかわって、地域移行（地域展開）が進む中での部活動の充実、地域移行したクラブと学校との連携、地域移行（地域展開）の情報共有など、貴重なご意見をいただいています。

○教職員の指導にかかわることについて、学習面や生活面の相談に対する感謝のお声をいただきました。一方、指導方法や生徒への対応に関わる貴重なご意見をいただいています。



富士見町立富士見中学校

担当 麦島 隆（教頭）

電話 62-2009

学校HP <http://fkjwww.suwa-ngn.ed.jp/>



←学校HP←